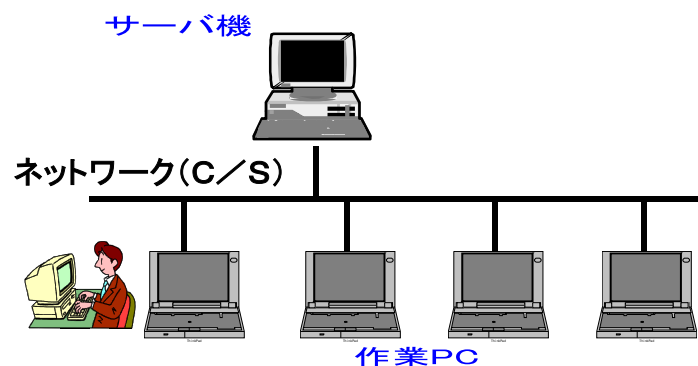


システム名	定期報告受付支援システム	業種名	〇建築防災センター
旧システムの問題点	建物の所有者が定期的に作成する報告書の情報を入力するが、建物データの入力・編集処理を行うために複数の画面を立ち上げての操作が必要だった為、効率が悪く、業務が滞っていた。また、検索や印刷処理に難があった。最大の問題点はプログラムがマイクロソフトのアクセスで作られているため、DBが複雑で多量の管理に適さなかった。		
メリットなど	業務の効率化が実現し、受付業務が簡素になりスピード化図られた。また、各種帳票や調査報告書も、内部で計算の自動的に行い、印刷処理を行えるようになった。プログラム設計を見直し(効率化)しているため、今後法令が変更となっても低予算で変更が可能となる。		

導入システム(運用)などについて

〇建築防災センターの例



建物の所有者が作成する定期報告書を受け取り、報告書の内容を基に建物データの入力および修正作業を行う。
 該当建物のデータを検索した後、個別、もしくは一覧画面からの入力・修正を行う。
 更には、所定の印刷出力業務を行い建物所有者へ発送したり、行政庁へ報告など行う。

